



寺島中だより

教育目標

「深く考え自ら学ぶ生徒」「心豊かで思いやりのある生徒」「健やかでたくましい生徒」



『 共生社会の実現へ 誰もが主役 』

◆日増しに秋の深まりを感じる頃となりました。10月8日(金)に前期終業式を行います。その日、全生徒に『通知表』をお渡しします。1年生にとっては、中学生になって初めての通知表です。楽しみにしている生徒も多いのではないのでしょうか。コロナ禍の中でありましたが、生徒たちのたくさんの成長や頑張りがありました。前期の学習面・生活面での一人一人の成果や、後期に更に伸ばして欲しいこと、頑張っていること等を保護者の皆様にお知らせします。是非、ご家庭で一緒にご覧になりながら、学習面はどうだったか、生活面はどうだったかを振り返り、「自分の良いところ」を見つけて下さい。また、「これからの課題」も見つけて下さい。そして子供たちが、後期に向けて意欲を高めるためにも、お家の方々からの温かい言葉はとても大切です。全ての子供たちにとって、通知表が大きな励ましの一つになることを願っています。

後期も「ダイヤモンドの輝きを放つ寺中生」の育成に、皆様と共に引き続き教育活動の充実に努めてまいりたいと思います。ご理解とご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

◆先月5日、夏季パラリンピック・東京大会が幕を閉じました。本校は、ボッチャ競技を観戦する予定でありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により残念ながら中止となりました。

22競技539種目が行われ、日本は、その大会で金・銀・銅メダルをそれぞれ13個、15個、23個で、総メダル数は51個を獲得する大活躍でありました。

肢体不自由や視覚障害、知的障害などのある選手の活躍やスポーツマンシップを通じ、共生社会の中で一人一人の違いを認め合うことの大切さを改めて学びました。

本校の卒業生である、三浦浩選手はパワーリフティング49キロ級に出場し、自身の記録を1キロ上回り、9位で大会を終えました。三浦選手の言葉に次のような言葉があります。『努力する人には協力する人たちが集まってくると思う。真剣に自分の目標をもって競技していれば、協力してくれる人が集まってくる』と。



今大会をテレビ等で観戦した方も多いと思います。車いすに乗って生活する選手や視覚障害のある選手等を知ることにより、障害のある人たちとの距離は近づいて行ったように思います。東京パラリンピックが終わった今、かつては、気にはしていたけれど、声を掛けられなかったり、行動に移せなかったりしたことがあった方も、共生社会の実現に向けて、何かを始めることができそうですね。

◆修学旅行について

9月25日～予定されていた3年生の修学旅行は、緊急事態宣言が9月30日までの延長に伴い、延期することとなりました。